

【様式4】

令和5年度薬円台公民館事業計画

1. 地域の状況

薬円台公民館の管区は、薬円台、七林町、薬園台町全地域としている。古くは江戸時代中期に薬草園として開発された地域で、その後は、畑作の新田村として受け継がれてきたが、現在では、農地の大部分が住宅となり、中規模マンションが増えつつある。新京成薬園台駅前には、常に、地域のボランティア団体によって四季の花が植えられている。対象区域の面積は1.56平方キロで、対象人口は令和4年10月1日現在、18,138人である。地域には小学校3校、中学校1校、高等学校1校があり、さらに郷土資料館、社会福祉会館があり、文化の町の趣を呈している。

2. 地域の課題

- (1)核家族化の進行や地域のつながりの希薄化など、家庭環境は多様化している。管区内に学校が多く、青少年の多い地域であることから家庭教育、子育て支援の充実が必要である。
- (2)薬円台を含む習志野台地域は定住意向が87%と高い。市民が自身のスキルや経験を生かして地域で活躍・貢献できる機会を増やす必要がある。
- (3)ライフステージに応じた事業の展開や様々な交流を意識した多様な学習の機会が必要である。
- (4)令和4年の管区の高齢化率は、令和4年10月1日現在、20.7%であり、市内平均より低い数字となっているが、外出自粛によるフレイルの進行、ひとり暮らし高齢者、認知症高齢者の増加が危惧される。また、生涯を心豊かで安心した生活を送れるよう知識の取得や過ごし方のヒントとなる学習の機会、地域住民の交流の場を増やす必要がある。
- (5)気候変動や地震による災害などに、住民自らが備え、行動できるように学ぶこと、環境問題を自らの問題として考えることが必要である。
- (6)地域の中央を東西に走る国道296号線(成田街道)は、広域道路網としての整備が十分でなく、交通量が多く、また、生活道路が狭い。火災や防犯、事故等といった身近な不安への対策や知識が必要である。

3. 重点目標

- (1)地域の学校・PTA、児童ホーム、青少年関係団体、ボランティアと連携し、家庭教育の向上に努めるとともに、青少年の体験学習や乳幼児親子への事業を通じ保護者同士や世代交流ができる機会を提供するなど子育て支援に努める。令和5年度は新たに薬園台高校と連携し事業を実施する。
- (2)生涯学習コーディネーターや各事業の委員、地区社会福祉協議会等と共に事業を企画・運営

し、地域住民との協働事業の充実に努める。

(3) 様々な地域住民との交流を意識し、多種多様な学習の機会を提供する。

(4) 市長部局とも連携を図り、高齢者の健康づくりや仲間づくり、活動や学習をはじめきっかけとなるような機会を提供する。

(5) 安心して暮らせるよう身近な防災・防犯対策事業、環境に関する事業については青少年講座や成人・高齢者講座の中で実施していく。